

経営比較分析表（令和5年度決算）

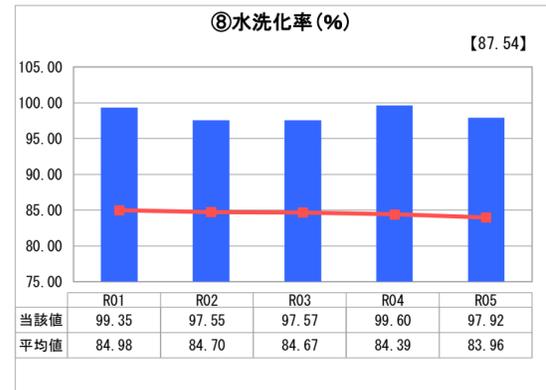
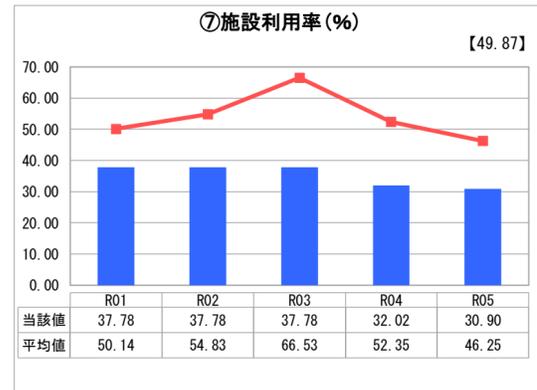
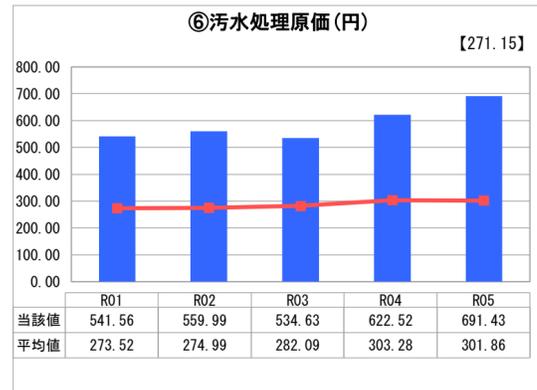
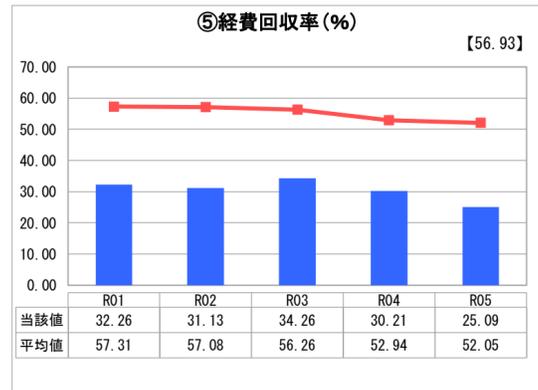
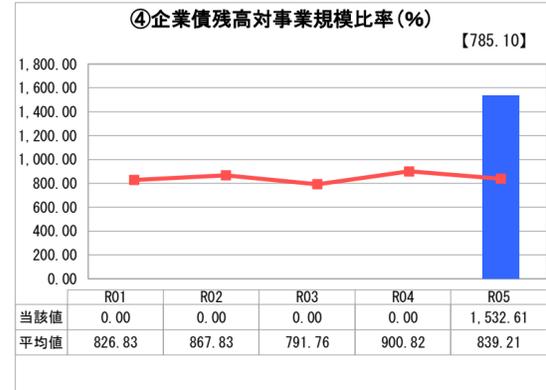
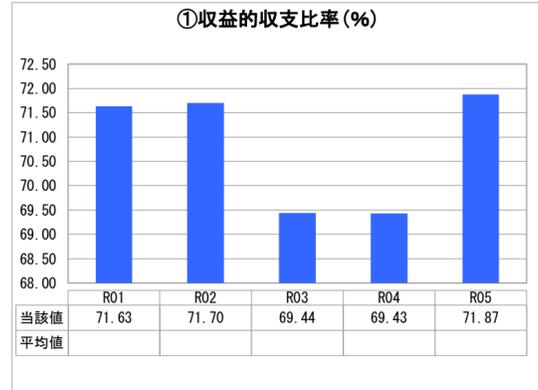
北海道 中川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	78.62	100.00	3,175

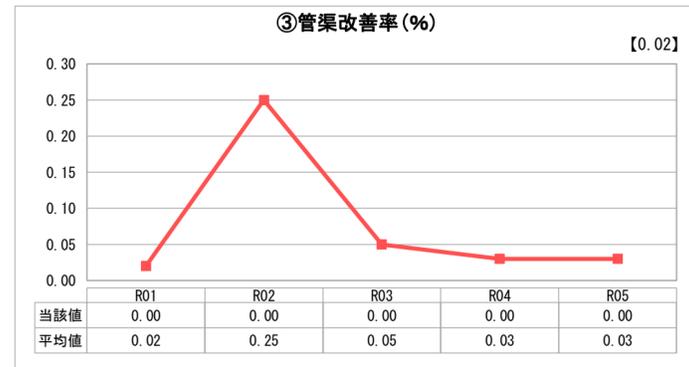
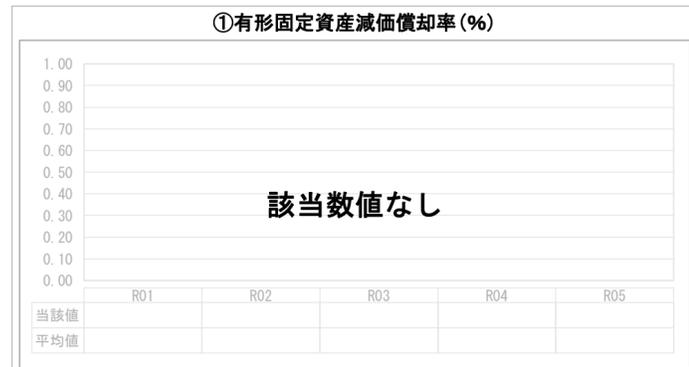
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,304	594.74	2.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,011	0.79	1,279.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、100%以上で単年度の収支が黒字であることを示しており、当該値は100%未満であることから、使用料の見直しに向けた検討が必要である。さらに、経費回収率は、100%以上で汚水処理に係る費用が使用料収入で賄えていることを示しているが、本町の農業集落排水事業は類似団体平均と比較すると汚水処理原価が高い為、経費回収率が低い水準となっている。経費回収率が100%未満であることから、使用料の見直しに向けた検討が必要である。

2. 老朽化の状況について

平成11年度の供用開始の為、管渠については法定耐用年数を超えるものは無いが、経過年数及び財源の確保などを視野に入れ、今後の更新を計画していく必要がある。

全体総括

本町は令和3年度に料金改定を行い収益の増収を図ったが、人口減少等が進む中で使用料収入の増加が見込めない状況であり、一般会計からの多額の繰入により運営している状況にある。人口減少により、過大性能となりつつある施設利用率や水洗化率の向上も限界があり、維持管理等のあり方などを見直し、将来に向けた経営の見直しをしていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。